

# 「子ども自立支援計画ガイドライン」についての概要

## 1. 目的

平成16年の児童福祉法の改正やそれに伴う児童福祉施設最低基準等の改正により、より高度な専門性を必要とするケースを担当することとなった児童相談所や自立支援計画の策定が義務づけられた児童福祉施設は、子どもの置かれている状況を踏まえ、子どもの心身の発達と健康の状況、及びそれぞれの子どもを取り巻く家庭、教育・児童福祉機関、近隣地域の養育力や子どもを中心とした相互の連携状態について、よりの確にアセスメント(実態把握・評価)することと共に、これに基づいた適切な自立支援計画を策定することが求められている。

このため、児童自立支援計画研究会(委員長:庄司順一 青山学院大学教授)を設置し、児童相談所や児童福祉施設などの児童福祉機関における子ども・家庭に対するアセスメント及び児童福祉施設における自立支援計画のあり方について検討し、1つの参考書として活用できる子ども・家庭などに対するアセスメントと支援計画を策定するための「子ども自立支援計画ガイドライン」を作成した。

## 2. 検討経過

- 平成16年2月～平成17年2月(作業委員会を含め、計10回開催)
- この間、厚生労働科学研究と連携し、児童相談所及び児童福祉施設の協力を得て2回の試行調査を実施し、その結果も反映。

## 3. 主な内容

- 子ども・家庭に対するアセスメントの基本的な考え方
- アセスメントの方法
- 自立支援計画策定のあり方
- 開発した評価票
- 改訂した児童記録票・自立支援計画票様式 など。

#### 4. 開発した評価票の種類

○年齢別・タイプ別の10種類の評価票を作成

- ・ 年齢別:乳児期、幼児期、児童期、思春期、青年期 (5つ)
- ・ 相談種別:「養護・虐待・非行・育成相談版」、「障害・保健相談版」(2つ)

#### 5. ガイドラインの特徴

特に昨今、虐待を受けた結果、専門的対応が求められるケースや、生育歴等にも複雑な背景をもったケースが多くなってきていることから、児童相談所や児童福祉施設においては、子どもやその家族に対して的確なアセスメントを実施し、援助指針や自立支援計画を策定、それに基づき支援を実施するといった体制を構築することが喫緊の課題になっている。

そのため、子ども、家庭、地域社会の状況を多角的総合的にアセスメントし、理解するための1つの評価票を開発したことと、それらを活用し、的確にアセスメントするための方法や自立支援計画を策定するあり方について言及したことにある。このガイドラインは、一定の水準を確保し、一人ひとりの子どもに対するより精度の高いアセスメントや計画策定につなげるための基本的な内容について提供を試みたものであり、このガイドラインは子どもの健全な育成が図られる一助となることを期待するものである。

#### 6. 今後の予定

- 4月上旬に、児童相談所、児童養護施設などの児童福祉施設などにガイドラインを送付し、具体的な相談援助活動や自立支援活動において参考書の1つとしての積極的な活用を促す予定。
- なお、簡易製本することも予定しており、でき次第送付する予定(4月下旬・5月上旬)。

# 子どもの健全な発達のためのアセスメント及び自立支援計画システムについて

相談者（関係者）

児童相談所

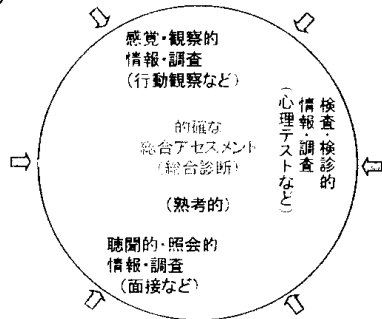
児童福祉施設

面接者（観察者）

受付面接 → 調査 → 分析・診断

【受理会議】（面接・観察・検査等）

「子ども家庭総合評価票（年齢・タイプ別）」の活用  
（別紙1）



社会診断

心理診断

医学診断

行動診断

その他の診断

判定会議

総合診断（判定）

援助方針会議

援助指針の作成

（別紙2）

施設入所措置

ケース概要の作成

（別紙3）

ケース検討会議

自立支援計画の策定（見直し）

（別紙4）

自立支援の実施

確認（モニタリング）・事後評価

再アセスメント

「子ども家庭総合評価票」等の活用

措置停止・解除

家庭復帰・社会的自立など

「子ども家庭総合評価票」調査結果

総括シートに基づく分析結果【1】

総括シートに基づく  
分析結果【2】・・・  
（【1】・・・との比較）

個別データの積み上げ・分析に基づき精度化されていく科学的データベース

# 子ども家庭総合評価票 児童期

（小学校1年生～4年生）



養護・虐待・非行・育成相談版

第1版

.....  
No.

.....  
子ども氏名

(          歳) 男・女

.....  
記入者氏名

.....  
所属  
.....



● I.子どもに関する事項 ● 養護・虐待・非行・育成相談版

現在の心身の健康	<p>身長 ( ) cm 体重 ( ) kg</p> <p>情報源は？： 1. 測定 2. 養育者 3. 学校 4. その他</p> <p><b>めやす</b>▶ P.22・23 男女別成長曲線(図1・図2)上にプロットして以下を判断する。</p> <p>身長： 3. 3%未満 2. 97%以上 1. 3%以上97%未満</p> <p>体重： 3. 3%未満 2. 97%以上 1. 3%以上97%未満</p>
	<p><b>歯科学的発達状況</b></p> <p><b>めやす</b>▶ P.6 「永久歯の発達」(表3)を参照して以下を判断する。</p> <p><b>永久歯の出現状況</b> 4. 大きく遅れている(8歳過ぎても未出現) 3. やや遅れている</p> <p>2. 年齢相当 1. 年齢以上 0. 判断困難</p> <p><b>未処置う歯</b> 4. 出現本数の60%以上 3. 59~40% 2. 39~10%</p> <p>1. ほとんど処置済み・う歯なし 0. 判断困難</p>
	<p><b>栄養状態</b></p> <p><b>めやす</b>▶ P.6 「哺乳・摂食状況(食欲)」と(留意点)を参照する。</p> <p><b>食欲</b>： 4. 拒食状態 3. かなり不振 2. やや不振 1. 正常 0. 判断困難</p> <p><b>偏食</b>： 4. 異常な偏食 3. かなり偏食 2. やや偏食 1. なし 0. 判断困難</p>
	<p><b>生活状況(現在の状況)</b></p> <p><b>起床時刻</b>： 4. 不規則 3. やや不規則 2. やや規則的 1. 規則的 0. 判断困難</p> <p><b>就寝時刻</b>： 4. 不規則 3. やや不規則 2. やや規則的 1. 規則的 0. 判断困難</p> <p><b>学校への登校状況</b>： 4. 全く登校していない 3. 不登校の日が多い 2. ときどき不登校</p> <p>1. 登校している 0. 判断困難</p>
	<p><b>不自然な身体損傷</b></p> <p><b>不自然なあざ、やけど、傷などの有無</b></p> <p>4. 新旧の不自然なあざや傷が10ヶ所以上ある 3. 5~9ヶ所ある</p> <p>2. 1~4ヶ所ある 1. なし 0. 判断困難</p>
	<p><b>不自然な身体損傷に関する特記事項</b></p> <p><b>特記事項の有無</b>： 1. あり 2. なし</p> <p>具体的に：</p>
	<p><b>身体能力の発達(体力診断)</b></p> <p><b>体力の発達(体力テスト)</b> 情報源は？： 1. 測定 2. 養育者 3. 学校 4. その他</p> <p>4. 遅れている 3. やや遅れている 2. 年齢相当 1. 年齢以上 0. 判断困難</p>
	<p><b>疾患・障害</b></p> <p><b>身体疾患・障害の有無</b> 情報源は？： 1. 診察 2. 養育者 3. 学校 4. その他</p> <p>4. 確定診断あり 3. 疑いあり 2. やや疑いあり 1. 疑いなし 0. 判断困難</p> <p><b>めやす</b>▶ P.8 種類は「主要身体疾患および身体障害の種類」(表7)から該当する記号を選んで記入する(複数選択可)。</p> <p>種類 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )</p> <p>その他 _____</p> <p><b>身体障害の認定(手帳の交付など)</b></p> <p>4. 認定を受けている 3. 申請中 2. 受けていない 1. 身体障害なし 0. 判断困難</p> <p><b>身体疾患・障害の治療</b></p> <p>4. 未受診 3. 受診したが中断している 2. 完治していない 1. 治療中</p> <p>1. 身体疾患・障害なし 0. 判断困難</p>

児童相談所援助指針

相談所名		作成者名			
フリガナ 子ども氏名		性別 男女	生年月日	年 月 日 ( 歳)	
保護者氏名		続柄	作成年月日	年 月 日	
主 訴					
援助の選択及びその理由					
本人の意向					
保護者の意向					
市町村・学校・保育所・職場などの意見					
児童福祉審議会の意見					
照会の有無(有無)					
児童福祉施設・里親などの意見					
【援助方針】					
第〇回 援助指針の作成及び評価 次期検討時期: 年 月					
子ども本人					
【長期目標】					
	援助上の課題	援助目標	援助内容・方法	評価(内容・期日)	
【短期目標 (優先的 重点的 課題)】					年 月 日
					年 月 日
					年 月 日
					年 月 日

家庭(養育者・家族)					
【長期目標】					
	援助上の課題	援助目標	援助内容・方法	評価(内容・期日)	
【短期目標 (優先的 重点的 課題)】					年 月 日
					年 月 日
					年 月 日
地域(保育所・学校等)					
【長期目標】					
	援助上の課題	援助目標	援助内容・方法	評価(内容・期日)	
【短期目標】					年 月 日
					年 月 日
総 合					
【長期目標】					
	援助上の課題	援助目標	援助内容・方法	評価(内容・期日)	
【短期目標】					年 月 日
					年 月 日
【特記事項】					

児童福祉施設におけるケース概要

子ども氏名  
保護者氏名  
主訴

生年月日  
住所

入所年月日

措置児童相談所

作成年月日

作成者

年齢	子ども自身	家庭生活(家族関係)	地域社会(学校など)	既往歴・特記事項	家族関係
					<ジェノグラム(家系図)>
					地域社会(社会資源)
子どもの心身状況など (心身の健康状況、自己、関係性、コミュニケーション、情緒的発達、認知的発達、問題解決能力、日常生活動作能力、性格)					
総合所見					



自立支援計画

施設名		作成者名			
フリカナ 子ども氏名		性別	男 女	生年月日	年 月 日 ( 歳)
保護者氏名		続柄		作成年月日	年 月 日
主たる問題					
本人の意向					
保護者の意向					
市町村・保育所・学校・職場などの意見					
児童相談所との協議内容					
【支援方針】					
第〇回 支援計画の策定及び評価 次期検討時期: 年 月					
子ども本人					
【長期目標】					
	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価(内容・期日)	
【短期目標 (優先的 重点的課題)】				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	

家庭(養育者・家族)				
【長期目標】				
	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価(内容・期日)
【短期目標 (優先的 重点的課題)】				年 月 日
				年 月 日
				年 月 日
地域(保育所・学校等)				
【長期目標】				
	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価(内容・期日)
【短期目標】				年 月 日
				年 月 日
総 合				
【長期目標】				
	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価(内容・期日)
【短期目標】				年 月 日
				年 月 日
【特記事項】				